

博物館とコミュニティ開発 Museums and Community Development		更新
対象国の条件: 博物館(人文社会系、自然系など)ならびに文化遺産管理機関を有する国		
研修コース番号: J1804279		案件番号: 1884770
主分野課題: 都市開発・地域開発/地域開発		
副分野課題:		
使用言語: 英語		
案件概要		
博物館は歴史、自然や文化に関する資料の集積、情報の発信拠点である。住民とともに、地域文化への誇りや環境への意識を高める活動を持続的に行うことで、博物館はコミュニティ開発の中核を担うことができる。本コースでは、途上国の博物館学芸員を対象に、博物館活動に不可欠な実践的手法を習得する総合的な研修を行い、各国の経済・文化振興やコミュニティの観光開発に貢献できる人材を育成することを目的とする。		
目標/成果		対象組織/人材
【案件目標】 参加各国の博物館において地域コミュニティと結びついた博物館の運営が促進され、その為の知識と経験、手法が当該国の博物館等の学芸員、職員間で共有される。また研修を通じて築き上げられた国際的ネットワークによって、その知識・手法の相互の持続的啓発が可能となる。		【対象組織】 人文社会系博物館および自然系博物館、ならびに文化遺産管理機関 【対象人材】 <対象人材> 次にあげるいずれかの分野において実務に携わっている博物館活動の専門職員：収集、ドキュメンテーション、保存、展示、教育、社会連携、その他の関連分野 <資格要件、職務経験> 博物館にかかわる専門業務で3年以上の実務経験をもつこと
【成果】 1. 自国における博物館活動や自身の専門分野の概要について説明し、関係課題について明確にすることができる。2. 博物館学の理論と実践についての総論的事項を解説・普及できる。3. 自身の博物館に応用できる博物館マネジメントにつき、自ら計画を立て、実践・普及できる。4. 博物館資料に関する収集・整理・保存の方法を体得し自ら実践・普及できる。5. 博物館資料の展示について、設計・実施のノウハウを体得し自ら実践・普及できる。6. 博物館のコミュニティ開発と社会連携(教育、地域振興、観光開発、防災等)につき、自らプランを立て、実践・普及できる。7. 博物館と地域社会(コミュニティ博物館、地域との連携、地域の歴史の表象、住民参加等)について、自らプランを立て、実践・普及できる。8. 個別研修プログラム: 各人の選択したワークショップを通じて、特定の専門分野能力を伸ばすことができる。9. 日本で得た知見や技術を用いて、所属博物館の実情に応じた普及プログラム案を作成することができる。		
内 容		
【事前活動】 自国における博物館の状況並びに研修員の所属する博物館の活動と自己の職務内容についてのレポートを作成する。 【本邦活動】 以下の項目に関する講義・実習・視察・討論を行い、帰国後の普及計画案を作成する。 1. 日本ならびに世界の博物館の歴史と現状、法体系、倫理規定、各国の文化政策 2. 資料の調査、収集、保存、梱包と輸送、写真撮影、映像記録、データベース化、広報、ミュージアム・ショップの運営 3. 展示の設計と実際、ユニバーサル・デザイン、学校・生涯教育との連携、住民との協働、観光の振興、歴史的記憶の継承 4. 資料保存、展示デザイン、博物館と地域の連携、考古資料の発掘と管理等個別プログラム履修による専門的知識・技術の習得 【事後活動】 普及計画案を所属機関で承認の上、実施に移す。その内容を帰国後6カ月以内にJICAに報告する。		本邦研修期間 2018/9/24～2018/12/15 担当課題部 社会基盤・平和構築部 所管国内機関 JICA関西(業務一)
		関係省庁 文部科学省
		実施年度 2018～2020
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ	国立民族学博物館 http://www.minpaku.ac.jp/research/sc/training/museology	